

# 学生による学生のための Web 広報システム

代表者 日下 大輔 (工学研究科信頼性システム工学専攻 2 年)

## 1. 目的と概要

香川大学では、学生のための、学生によるイベント情報の周知は主に大学内にある学生掲示板により行なわれている。しかし現在、香大に存在する学生掲示板は以下のような点で活用されにくい状況になっている。

- ・ 閲覧のための移動が面倒である。
- ・ 閲覧する学生が掲示物の有効期間を判断する必要がある。
- ・ 掲載期限の過ぎた掲示物をはがすのに手間がかかる。

よって「学生による学生のための Web 広報システム」(以下本プロジェクト)では、従来の学生掲示板を電子化し、Web 上で掲示物を管理することで上記のような問題を解決可能な Web 広報システムを作成する。Web 広報システムは、昨年我々が開発した学生による Q&A システム「ナルホド香川大学」を基盤とし、学生同士が自由に広報を行えるようになることを目指す。

## 2. 実施期間 (実施日)

平成 20 年 7 月 1 日 から 平成 21 年 3 月 30 日まで

平成 20 年

- 5 月～ Web 広報システムの立案
- 8 月～ Web 広報システムの仕様決定
- 10 月～ 「香大ビルボード」の作成
- 12 月～ 画像表示のインターフェース作成

平成 21 年

- 1 月～ Web 広報システムの設置場所・方法の決定

### 3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、本年度の成果として Web 広報システム(以下本システム)の基盤となる画像投稿用の Web ページ「香大ビルボード」(<http://naruhodo.nazo.cc/bilbo/>)を作成しました。香川大学の学生は「香大ビルボード」を中心に、学生のための配布物を Web 上に掲示できるようになります。図 1 に香大ビルボードの仕組みを示します。

本システムは、閲覧者が Web 上と学内に存在する大型モニターで掲示物を閲覧できるようにしています。閲覧者が学内に存在する大型モニターで掲示物を閲覧するために、Viewer 用 Web ページを用意しています。本システムでは、閲覧者が Viewer 用ページで掲示物を自由に閲覧できるよう、特殊なインターフェースを実装しています。本システムは大型モニターに Web カメラを取り付け、特定のオブジェクトを画像認識で読み取ります。読み取った位置情報により画像のスライドを操作可能です。図 2 に特定のオブジェクトの例を手とした viewer 操作の様子を示します。

#### 香大ビルボードの仕組み

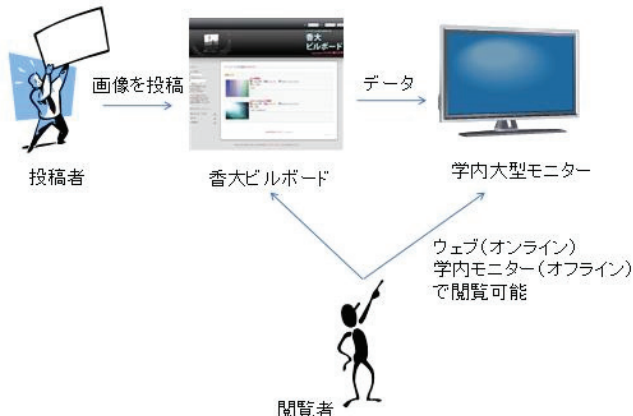


図 1. 香大ビルボードの仕組み

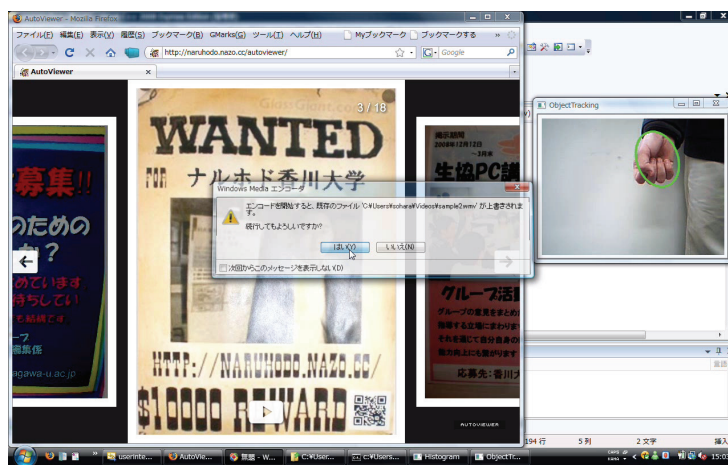


図 2. viewer ページの表示操作

### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施し、中間報告を行ったことで、学生支援グループの方々や、役員の方にも支援していただけることになりました。2008 年度の本プロジェクト企画段階では、本学のみならず 1 機システムを導入する予定で進めていました。しかし、たくさんの方々の支持に

より 2009 年度に複数の本システムの設置を再企画として立ちあげることになりました。2009 年 3 月 5 日 現在ではグループの方と相談し、教育学部の生協前、工学部の生協前、農学部システムの実際の設置が予定されています。図 3 に教育学部での設置予定場所を示します。



図 3. 教育学部のシステム設置予定場所

## 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

研究や就職活動で忙しい中、本プロジェクトに取り組むことで我々スタッフは多くの物を得ることができました。本プロジェクトのスタッフは、同じ研究室の学生がほとんどであるため、研究室全体の連携を高めることができました。

私は、昨年から学生支援プロジェクトを経験しています。昨年プロジェクトよりも今回のプロジェクトの方が取り入れるまたは開発する技術要素が多かったため学ぶことが多くありました。今年から参加した新スタッフは、複数人で作業するという体験から、協調性を学べたと思います。他にサイトの構築等で、技術者として必要な能力を高めることができましたので、私達にとって大変有意義なプロジェクトとなりました。

## 6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

2009 年になってから設置場所を増やすことになったため、物品の注文をする機会が増えました。物品注文の際、必要な物品を忘れていたりして学生支援グループの方に迷惑をかけてしまいました。物品の注文などは、スタッフ全員で何度も確認しあう必要があると反省しました。

今後は、実際の本システムの設置や運営に向けて着実に活動を進めていきたいと考えています。特に、設置や運営をしても使ってくれる人がいないとプロジェクトの達成とは言えませんので、大学の生協の人やサークルの人に広報活動を行って生きたいと思います。大学のサークル等と連携を深め、サークルの勧誘などを本システム上でできるようになることを目標とします。

## 7. 実施メンバー

代表者 日下 大輔（工学研究科 2 年）

構成員 曾原 寿充（工学部 4 年）

鈴木 貴文（工学部 4 年）

林 雅也（工学部 3 年）

山本くるみ（法学部 2 年）

湯浅 智美（法学部 2 年）